

# 三重県内経済情勢

(令和2年9月の指標から)

令和2年11月30日

三重県 戦略企画部 統計課

## 三重県内経済情勢（令和2年9月の指標から）

新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いているものの、持ち直しの動きがみられる。（生産は、持ち直しつつある。個人消費は、感染症の影響が残るものの、持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。）

### 1. 概況

（生産）

鉱工業生産指数は、4か月ぶりに低下した。【図1】

（消費）

大型小売店（百貨店・スーパー）販売額（既存店調整値）は、5か月ぶりに前年比減となった。【図2】

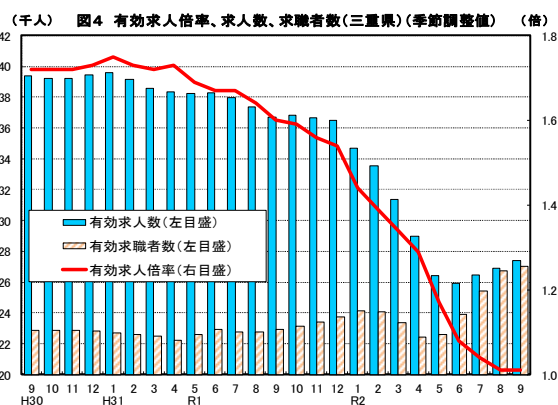
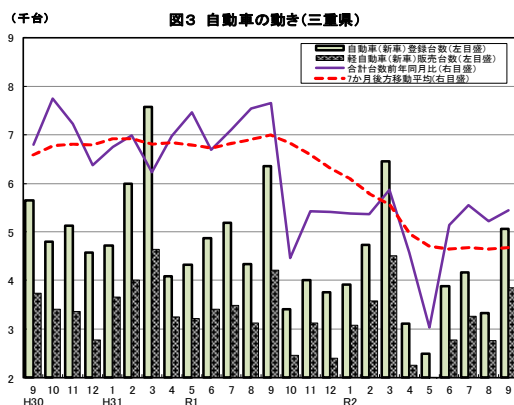
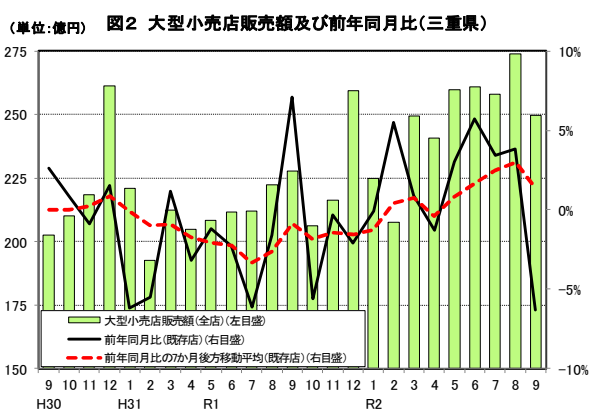
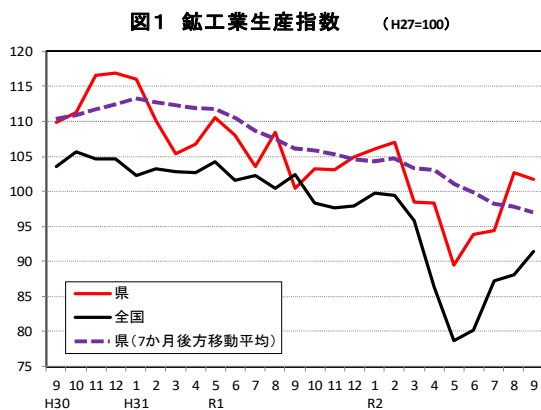
コンビニエンスストア販売額（三重県全店値）は7か月連続で前年比減となり、家電販売額（三重県全店値）は5か月ぶりに前年比減となった。

自動車（新車）登録台数（軽自動車を除く）は12か月連続で前年比減となり、軽自動車（新車）販売台数は12か月連続で前年比減となった。【図3】

新設住宅着工戸数は、2か月連続で前年比減となった。

（雇用）

有効求人倍率は1.01倍となり、前月から横ばいとなった。【図4】



## 2. 主要経済指標の動き

### (1) 生産活動

- ・ 鉱工業生産指数（H27=100）は101.7となり、前月比1.0%減と4か月ぶりに低下した。
- ・ 県内主要3業種では、電子部品・デバイス工業(125.0)が前月比5.4%減、輸送機械工業(116.2)が前月比4.8%減、化学工業(87.8)が前月比1.0%減となった。
- ・ 鉱工業生産者製品在庫指数（H27=100）は100.2となり、前月比0.5%増と2か月連続で上昇した。

		R2年6月	7月	8月	9月
鉱工業生産（季節調整済）指数（H27=100）	指数	93.9	94.4	102.7	101.7
	前月比、%	4.9	0.5	8.8	▲1.0
（電子部品・デバイス工業）	指数	128.9	129.9	132.2	125.0
	前月比、%	12.8	0.8	1.8	▲5.4
（輸送機械工業）	指数	96.8	103.4	122.1	116.2
	前月比、%	14.0	6.8	18.1	▲4.8
（化学工業）	指数	89.0	80.7	88.7	87.8
	前月比、%	▲0.1	▲9.3	9.9	▲1.0
鉱工業生産（季節調整済）指数（全国） （H27=100）	指数	80.2	87.2	88.1	91.5
	前月比、%	1.9	8.7	1.0	3.9
鉱工業生産者製品在庫（季節調整済）指数 （H27=100）	指数	100.2	97.4	99.7	100.2
	前月比、%	▲1.1	▲2.8	2.4	0.5

### (2) 個人消費

- ・ 県内の大型小売店（百貨店・スーパー）販売額（既存店調整値）は前年同月比6.3%減となり、5か月ぶりに前年同月を下回った。
- ・ コンビニエンスストア販売額（三重県全店値）は前年同月比4.1%減となり、7か月連続で前年同月を下回った。
- ・ 家電販売額（三重県全店値）は前年同月比32.5%減となり、5か月ぶりに前年同月を下回った。
- ・ 自動車（新車）登録台数（軽自動車を除く）は前年同月比20.3%減と12か月連続で前年同月を下回り、軽自動車（新車）販売台数は前年同月比8.7%減と12か月連続で前年同月を下回った。
- ・ 全自動車（新車）では前年同月比15.7%減となり、12か月連続で前年同月を下回った。

			R2年6月	7月	8月	9月	
大型小売店（百貨店・スーパー）販売額	（県内全店）	百万円	26,094	25,787	27,367	24,962	
		前年同月比、%	5.7	3.4	3.8	▲6.3	
	（全国全店）	億円	16,789	16,918	16,882	15,680	
		前年同月比、%	▲3.4	▲4.2	▲3.2	▲13.9	
コンビニエンスストア販売額（三重県全店）			百万円	12,463	12,743	13,549	12,697
			前年同月比、%	▲5.4	▲8.2	▲6.1	▲4.1
家電販売額（三重県全店）			前年同月比、%	25.9	7.5	5.3	▲32.5
自動車（新車）登録台数	（県内）	台	3,875	4,171	3,323	5,064	
		前年同月比、%	▲20.6	▲19.6	▲23.5	▲20.3	
	（全国）	千台	215	239	198	294	
		前年同月比、%	▲26.0	▲20.4	▲18.5	▲15.6	
軽自動車（新車）販売台数	（県内）	台	2,776	3,271	2,761	3,850	
		前年同月比、%	▲18.5	▲6.3	▲11.5	▲8.7	
	（全国）	千台	133	157	129	176	
		前年同月比、%	▲17.3	▲1.1	▲11.8	▲12.1	
自動車・軽自動車合計	（県内）	台	6,651	7,442	6,084	8,914	
		前年同月比、%	▲19.7	▲14.3	▲18.5	▲15.7	
	（全国）	千台	347	396	326	470	
		前年同月比、%	▲22.9	▲13.7	▲16.0	▲14.3	

### (3) 住宅建設

- ・新設住宅着工戸数は818戸で、前年同月比20.7%減と2か月連続で前年同月を下回った。

		R2年6月	7月	8月	9月
新設住宅着工戸数	戸	718	839	618	818
	前年同月比、%	▲ 26.6	2.4	▲ 17.3	▲ 20.7
(持家)	戸	445	404	359	408
	前年同月比、%	▲ 12.6	▲ 20.5	▲ 17.3	▲ 15.4
(貸家)	戸	176	262	200	173
	前年同月比、%	▲ 53.9	9.6	▲ 17.4	▲ 61.4
(分譲住宅)	戸	97	169	57	229
	前年同月比、%	14.1	156.1	▲ 17.4	138.5

### (4) 雇用情勢

- ・有効求人倍率は1.01倍となり、前月から横ばいとなった。
- ・就業地別有効求人倍率は1.13倍となり、前月から0.01ポイント下回った。
- ・完全失業率(全国値)は3.0%で、前月から横ばいとなった。
- ・所定外労働時間指数は83.6で、前年同月比15.7%減となり、12か月連続で前年同月比減となった。
- ・常用雇用指数は102.9で、前年同月比1.0%増となり、4か月連続で前年同月比増となった。
- ・名目賃金指数は83.0で、前年同月比0.7%減となり、3か月連続で前年同月比減となった。

		R2年6月	7月	8月	9月
有効求人倍率	(三重県) 倍	1.08	1.04	1.01	1.01
	(全国) 倍	1.11	1.08	1.04	1.03
就業地別有効求人倍率	倍	1.25	1.18	1.14	1.13
所定外労働時間指数 (H27=100)	指数	72.1	76.2	77.0	83.6
	前年同月比、%	▲ 27.3	▲ 21.8	▲ 16.8	▲ 15.7
常用雇用指数 (H27=100)	指数	102.6	102.6	103.1	102.9
	前年同月比、%	0.7	0.6	1.5	1.0
名目賃金指数 (H27=100)	指数	131.1	119.9	85.3	83.0
	前年同月比、%	0.6	▲ 2.7	▲ 3.2	▲ 0.7
完全失業率	(全国) %	2.8	2.9	3.0	3.0
	(三重県モデル推計値) %	1.4	..	..	..

※完全失業率(三重県:モデル推計値、%)の月別の数値は、1~3月期平均、4~6月期平均、7~9月期平均及び10~12月期平均を用いている。

### (5) 企業倒産

- ・企業倒産は4件発生した。負債総額は1億2,800万円で、前年同月比は72.2%減となった。

		R2年6月	7月	8月	9月
企業倒産件数	件	4	3	4	4
	前年同月比、%	▲ 42.9	▲ 50.0	33.3	33.3
負債総額	百万円	5,294	525	490	128
	前年同月比、%	121.2	▲ 43.2	15.0	▲ 72.2

### (6) 消費者物価

- ・消費者物価指数（津市、H27=100）は101.4で、前月比は0.1%増、前年同月比は0.1%増となった。

		R2年6月	7月	8月	9月	
消費者物価指数	(津市)	指数	101.3	101.4	101.4	101.4
		前月比、%	0.0	0.1	▲ 0.1	0.1
		前年同月比、%	0.2	0.4	0.0	0.1
	(全国)	指数	101.7	101.9	102.0	102.0
		前月比、%	▲ 0.1	0.1	0.2	▲ 0.1
		前年同月比、%	0.1	0.3	0.2	0.0

### 3. 景気動向指数

- ・CI一致指数（景気の現状を示す指標）は77.5となり、前月と比較して0.3ポイント下降し、4か月ぶりに下降した。（注1）
- ・CI一致指数からみる県内経済の基調は、下げ止まりを示している。（注2）

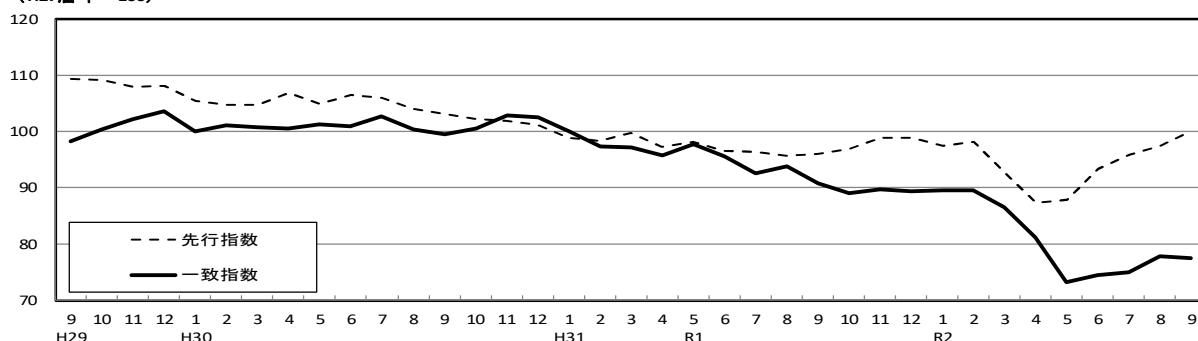
		R2年6月	7月	8月	9月
CI一致指数	指数	74.4	75.0	77.8	77.5
	前月差、ポイント	1.2	0.6	2.8	▲0.3
3か月後方移動平均	指数	76.3	74.2	75.7	76.8
	前月差、ポイント	▲4.06	▲2.07	1.53	1.04
7か月後方移動平均	指数	83.4	81.3	79.7	78.0
	前月差、ポイント	▲2.19	▲2.06	▲1.67	▲1.71
DI一致指数（%）	指数	14.3	21.4	85.7	71.4
	前月差、ポイント	14.3	7.1	64.3	▲14.3

- ・CI先行指数（判断時点よりも半年程度先の景気を示す指標）は100.2となり、前月と比較して2.8ポイント上昇し、5か月連続で上昇した。（注1）

		R2年6月	7月	8月	9月
CI先行指数	指数	93.4	95.8	97.4	100.2
	前月差、ポイント	5.5	2.4	1.6	2.8
3か月後方移動平均	指数	89.5	92.4	95.5	97.8
	前月差、ポイント	0.23	2.84	3.16	2.27
7か月後方移動平均	指数	93.7	93.3	93.2	93.5
	前月差、ポイント	▲0.79	▲0.44	▲0.02	0.29
DI先行指数（%）	指数	42.9	71.4	71.4	83.3
	前月差、ポイント	14.3	28.5	0.0	11.9

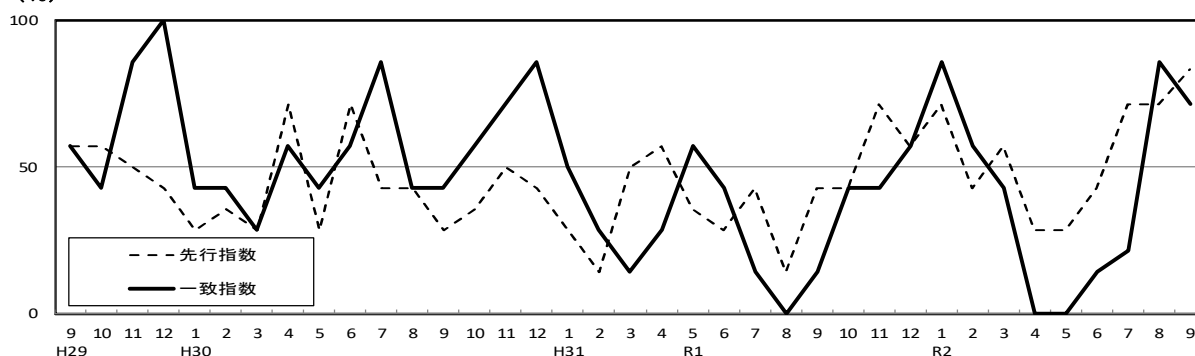
(H27暦年=100)

#### CI 指数



(%)

#### DI 指数



(注1) 景気動向指数は、採用している基礎統計が確報値を公表するなどした場合、過去にさかのぼって改訂する。このため過去に公表した指数は最新のものとは異なることがある。

(注2) 景気動向指数は、各経済部門から選ばれた指標の動きを統合して、単一の指標によって景気を把握しようとするものであり、すべての経済指標を総合的に勘案して景気を捉えようとするものではないことに留意する必要がある。











# 三重県景気動向指数 (CI) 令和2年9月分の概要

## 1. 景気動向指数 (CI) の動向

令和2年9月のCI (平成27年=100) は、先行指数 100.2、一致指数 77.5、遅行指数 107.1 となった。

- ・ 先行指数は、前月と比較して 2.8 ポイント上昇した。3か月後方移動平均は 2.27 ポイント上昇し、4か月連続で上昇した。7か月後方移動平均は 0.29 ポイント上昇し、7か月ぶりに上昇した。
- ・ 一致指数は、前月と比較して 0.3 ポイント下降した。3か月後方移動平均は 1.04 ポイント上昇し、2か月連続で上昇した。7か月後方移動平均は 1.71 ポイント下降し、21か月連続で下降した。
- ・ 遅行指数は、前月と比較して 2.8 ポイント下降した。3か月後方移動平均は 2.76 ポイント下降し、7か月連続で下降した。7か月後方移動平均は 3.21 ポイント下降し、7か月連続で下降した。

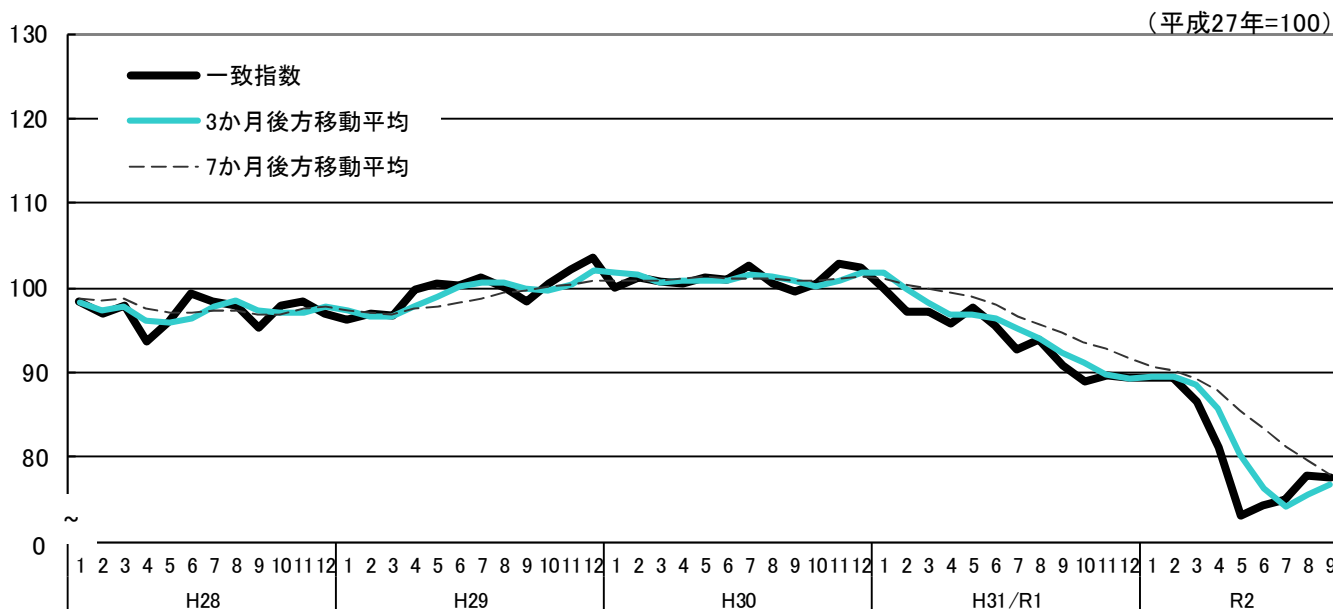
## 2. 一致指数の基調判断

景気動向指数 (CI 一致指数) は、下げ止まりを示している。

## 3. 一致指数の個別系列ごとの寄与度

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C7: 所定外労働時間指数 (製造業、5人以上)	1.04	C6: 大型小売店 (百貨店・スーパー) 販売額 (既存店、前年同月比)	▲ 1.31
C3: 輸入通関実績 (四日市港)	0.27	C2: 鉱工業生産指数 (鉱工業用生産財)	▲ 0.16
C4: 有効求人倍率	0.05	C1: 鉱工業生産指数	▲ 0.13
C5: 人件費比率	0.02		

## 4. 一致指数の推移



注1. 「3か月後方移動平均」とは今月値を含む過去3か月分の平均値のことで足下の基調変化を表し、「7か月後方移動平均」とは今月値を含む過去7か月分の平均値のことで定着しつつある基調を表す。

注2. 「CIを用いた基調判断」は、内閣府の判断基準に準じて行っている。詳細は「利用の手引き」を参照。

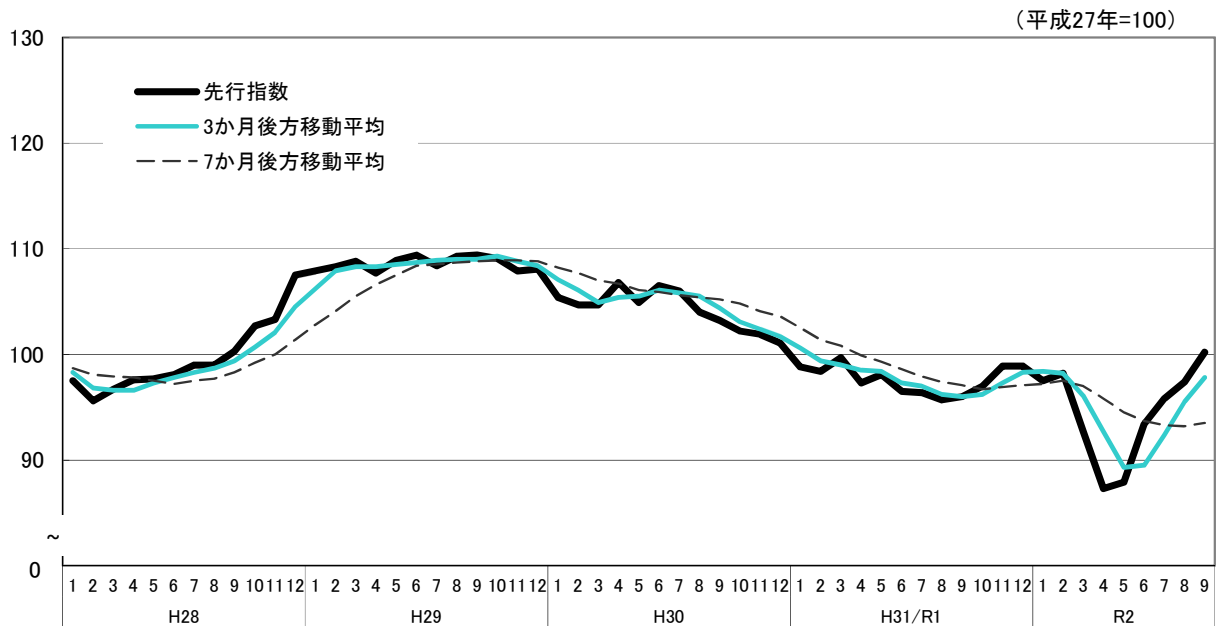
注3. CIの「寄与度」とは、CIの増減がどの採用系列の動きにより引き起こされているかの度合いを表す。

注4. 景気動向指数は、各経済部門から選ばれた指標の動きを統合して、単一の指標によって景気を把握しようとするものであり、すべての経済指標を総合的に勘案して景気を捉えようとするものではないことに留意する必要がある。

注5. 三重県景気動向指数 (CI) は、平成31年1月公表分から基準年を平成27年に変更している。

# 1. CI先行指数の動向

## (1) 先行指数の推移

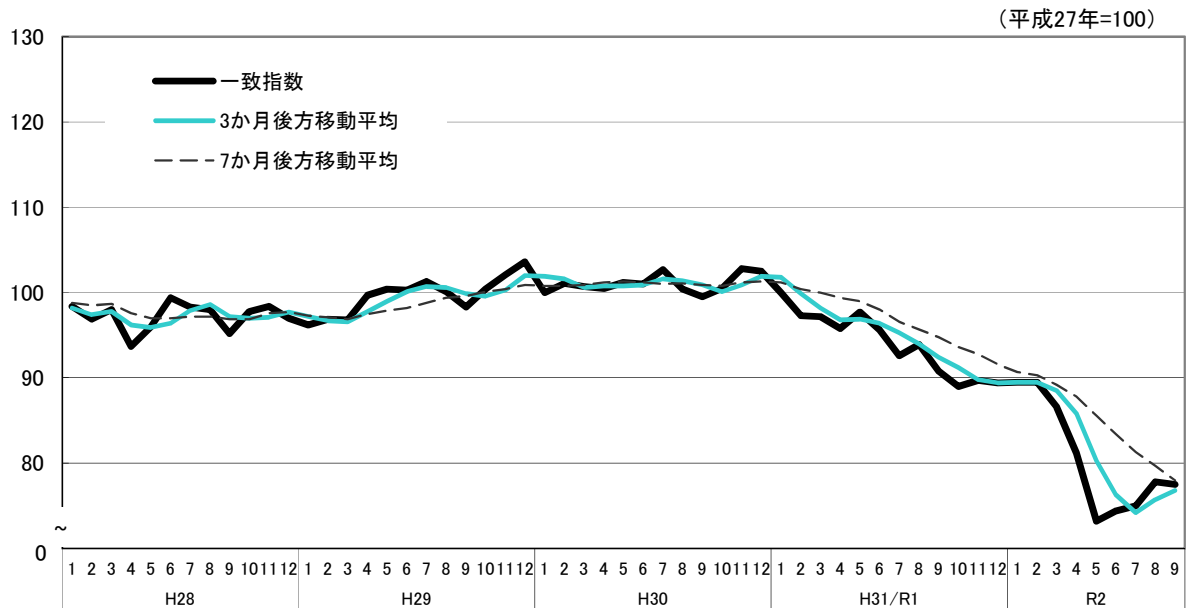


## (2) 先行指数採用系列の寄与度

			令和2年 (2020年)					
			4月	5月	6月	7月	8月	9月
CI	先行指数		87.3	87.9	93.4	95.8	97.4	100.2
		前月差(ポイント)	▲ 5.4	0.6	5.5	2.4	1.6	2.8
L1	新規求人数	前月比伸び率(%)	▲ 14.8	4.3	3.8	▲ 3.0	2.0	7.1
		寄与度	▲ 1.86	0.55	0.51	▲ 0.33	0.31	1.11
L2	鉱工業生産指数(生産財)	前月比伸び率(%)	▲ 6.9	▲ 10.6	7.1	0.9	3.5	▲ 0.1
		寄与度	▲ 1.37	▲ 1.37	1.31	0.16	0.66	▲ 0.04
L3	新車登録台数	前月比伸び率(%)	▲ 10.1	▲ 21.2	24.6	4.9	4.8	8.9
		寄与度	▲ 1.18	▲ 1.27	2.40	0.52	0.51	1.13
L4	新設住宅着工戸数	前月比伸び率(%)	▲ 22.6	▲ 0.3	▲ 8.7	30.6	▲ 21.9	16.3
		寄与度	▲ 1.22	0.01	▲ 0.43	1.36	▲ 1.25	0.95
L5	銀行貸出末残 (地域銀行、東海三県)	前月差	1.6	1.8	0.8	1.1	▲ 0.1	
		寄与度	0.49	1.89	0.82	1.19	▲ 0.24	
L6	東証株価指数	前月差	18.9	3.5	1.2	▲ 8.2	3.8	0.2
		寄与度	0.93	0.46	0.17	▲ 1.10	0.55	0.03
L7	日経商品指数 (42種総合)	前月差	▲ 2.8	1.4	2.6	2.3	3.0	▲ 0.2
		寄与度	▲ 1.02	0.56	1.01	0.91	1.18	▲ 0.16
一致トレンド成分								
		寄与度	▲ 0.19	▲ 0.26	▲ 0.28	▲ 0.27	▲ 0.16	▲ 0.20
3か月後方移動平均			92.7	89.3	89.5	92.4	95.5	97.8
		前月差(ポイント)	▲ 3.40	▲ 3.43	0.23	2.84	3.16	2.27
7か月後方移動平均			95.8	94.5	93.7	93.3	93.2	93.5
		前月差(ポイント)	▲ 1.24	▲ 1.30	▲ 0.79	▲ 0.44	▲ 0.02	0.29

## 2. CI一致指数の動向

### (1) 一致指数の推移



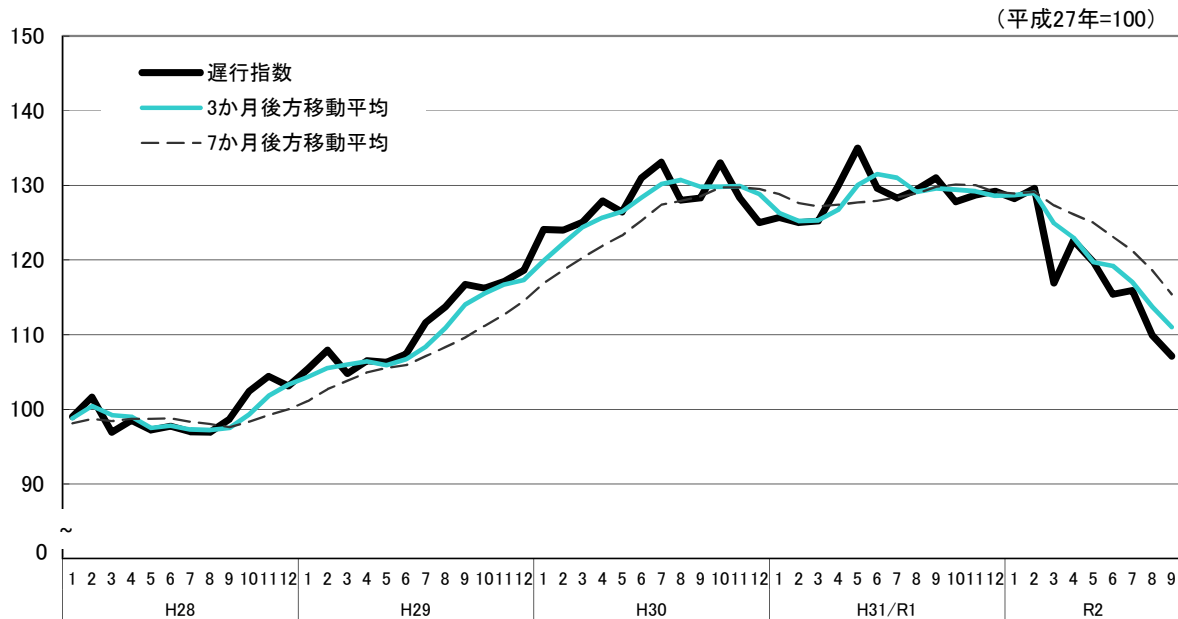
### (2) 一致指数採用系列の寄与度

		令和2年 (2020年)					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月
CI	一致指数	81.2	73.2	74.4	75.0	77.8	77.5
	前月差(ポイント)	▲ 5.4	▲ 8.0	1.2	0.6	2.8	▲ 0.3
C1	鉱工業生産指数	▲ 0.2	▲ 9.0	4.9	0.5	8.8	▲ 1.0
	前月比伸び率(%)	▲ 0.03	▲ 1.25	0.61	0.07	1.11	▲ 0.13
	寄与度	▲ 0.94	▲ 1.39	0.80	0.05	0.56	▲ 0.16
C2	鉱工業生産指数(鉱工業用生産財)	▲ 6.6	▲ 10.4	6.8	0.4	4.6	▲ 1.2
	前月比伸び率(%)	▲ 0.94	▲ 1.39	0.80	0.05	0.56	▲ 0.16
	寄与度	▲ 1.27	▲ 1.00	0.01	0.19	0.26	0.27
C3	輸入通関実績(四日市港)	▲ 29.3	▲ 25.2	3.4	9.6	10.6	10.2
	前月比伸び率(%)	▲ 1.27	▲ 1.00	0.01	0.19	0.26	0.27
	寄与度	▲ 0.05	▲ 0.12	▲ 0.09	▲ 0.04	▲ 0.03	0.00
C4	有効求人倍率	▲ 0.69	▲ 1.49	▲ 0.71	▲ 0.45	▲ 0.32	0.05
	前月差	0.03	0.08	▲ 0.07	▲ 0.01	▲ 0.07	0.00
	寄与度(逆サイクル)	▲ 0.30	▲ 0.77	0.69	0.11	0.70	0.02
C6	大型小売店(百貨店・スーパー)販売額 (既存店調整値、前年同月比)	▲ 2.2	4.3	2.7	▲ 2.3	0.4	▲ 10.1
	前月差	▲ 0.31	0.28	0.33	▲ 0.29	0.05	▲ 1.31
	寄与度	▲ 21.6	▲ 21.7	▲ 5.1	8.8	3.9	9.9
C7	所定外労働時間指数 (製造業、5人以上の事業所)	▲ 1.87	▲ 2.33	▲ 0.54	0.89	0.41	1.04
	前月比伸び率(%)	▲ 1.87	▲ 2.33	▲ 0.54	0.89	0.41	1.04
	寄与度	85.8	80.3	76.3	74.2	75.7	76.8
	前月差(ポイント)	▲ 2.76	▲ 5.44	▲ 4.06	▲ 2.07	1.53	1.04
	寄与度	87.8	85.6	83.4	81.3	79.7	78.0
	前月差(ポイント)	▲ 1.37	▲ 2.25	▲ 2.19	▲ 2.06	▲ 1.67	▲ 1.71

(注1) 逆サイクルとは、指数の上昇・下降の動きが景気の動きと反対になることをいう。逆サイクルの指標は、前月差がプラスになれば指数に対する寄与度のマイナス要因となり、逆に前月差がマイナスになればプラス要因となる。

### 3. CI遅行指数の動向

#### (1) 遅行指数の推移

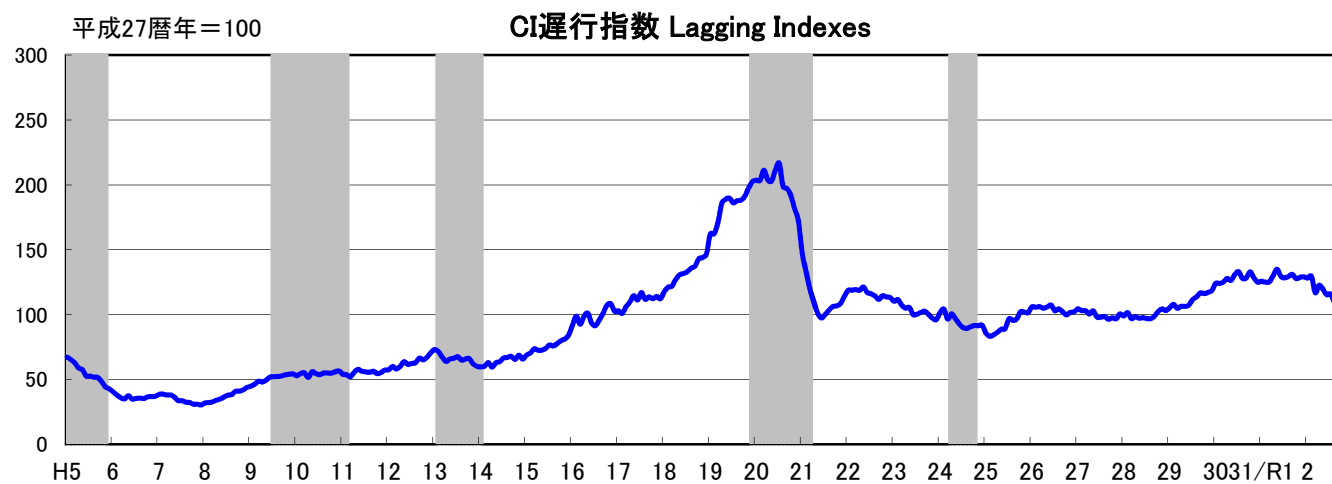
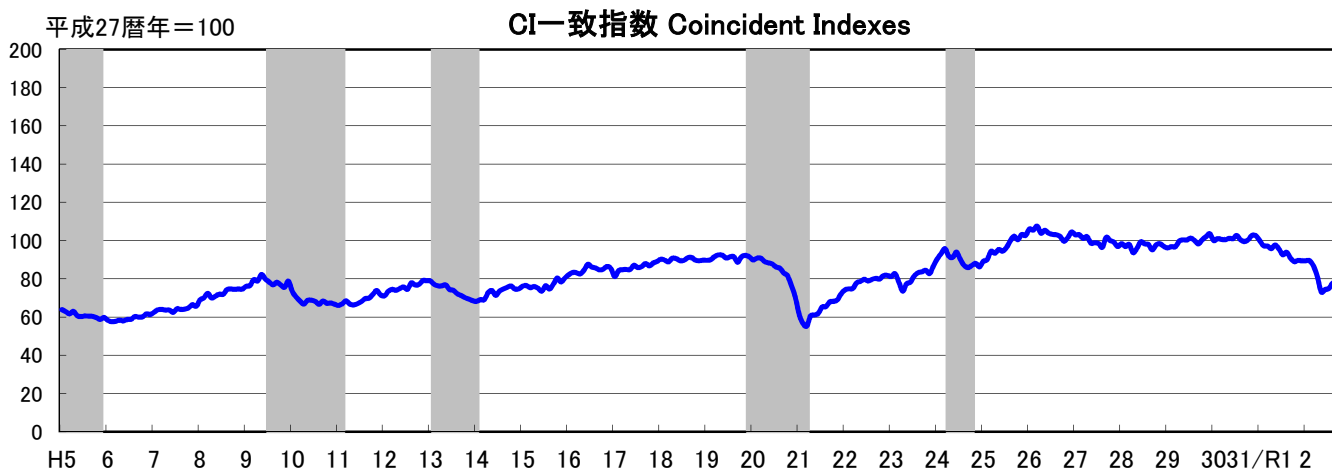
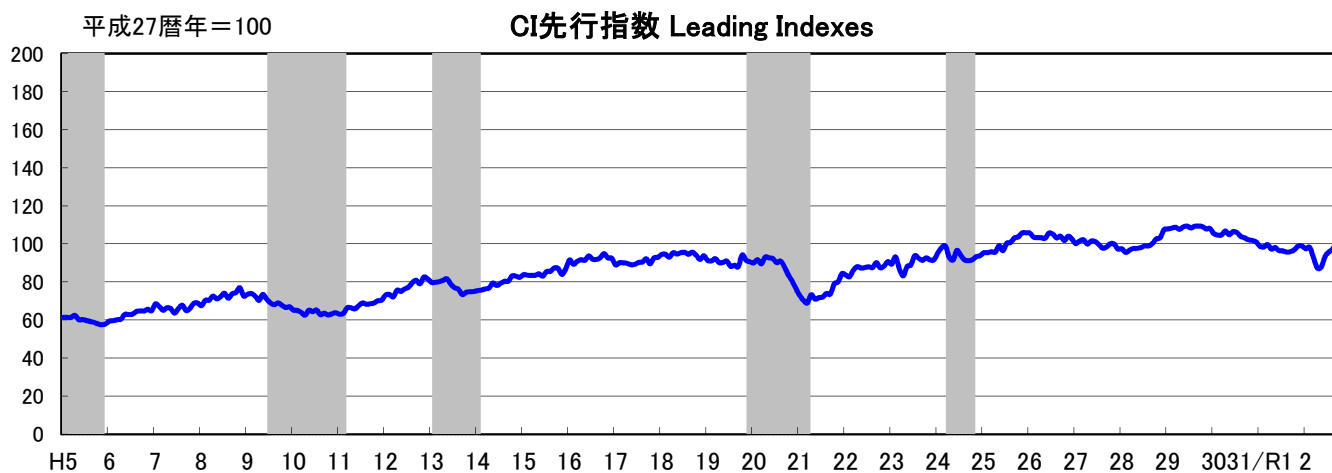


#### (2) 遅行指数採用系列の寄与度

			令和2年 (2020年)					
			4月	5月	6月	7月	8月	9月
CI	遅行指数		122.6	119.7	115.4	115.9	109.9	107.1
		前月差(ポイント)	5.7	▲ 2.9	▲ 4.3	0.5	▲ 6.0	▲ 2.8
LG1	雇用保険受給者実人員	前月比伸び率(%)	0.0	▲ 5.8	17.3	5.1	4.5	2.6
		寄与度(逆サイクル)	▲ 0.19	2.38	▲ 3.56	▲ 3.18	▲ 2.73	▲ 1.84
LG2	常用雇用指数 (製造業、30人以上の事業所)	前月比伸び率(%)	1.3	▲ 0.5	▲ 0.9	▲ 0.2	1.4	▲ 0.5
		寄与度	3.65	▲ 1.73	▲ 2.77	▲ 0.82	2.91	▲ 1.89
LG3	法人事業税調定額	前月比伸び率(%)	24.6	▲ 17.0	▲ 4.1	344.1	▲ 64.9	31.4
		寄与度	1.63	▲ 1.37	▲ 0.28	4.17	▲ 4.70	2.21
LG4	貸出約定平均金利 (地元地域銀行、総合(ストック))	前月差	▲ 0.006	▲ 0.001	▲ 0.001	▲ 0.001	▲ 0.004	
		寄与度	0.01	0.46	0.43	0.42	0.15	
LG5	家計消費支出(津市) (二人以上の世帯、前年同月比)	前月差	14.4	▲ 26.6	23.1	▲ 4.1	▲ 8.1	▲ 18.7
		寄与度	1.00	▲ 1.82	1.58	▲ 0.26	▲ 0.51	▲ 1.38
LG6	消費者物価指数 (津市、前年同月比)	前月差	▲ 0.1	▲ 0.2	0.3	0.2	▲ 0.4	0.1
		寄与度	▲ 0.20	▲ 0.45	0.74	0.46	▲ 0.92	0.26
一致トレンド成分								
		寄与度	▲ 0.26	▲ 0.36	▲ 0.37	▲ 0.33	▲ 0.18	▲ 0.22
3か月後方移動平均			123.0	119.7	119.2	117.0	113.7	111.0
		前月差(ポイント)	▲ 1.87	▲ 3.30	▲ 0.50	▲ 2.23	▲ 3.27	▲ 2.76
7か月後方移動平均			126.1	125.0	123.1	121.2	118.6	115.4
		前月差(ポイント)	▲ 1.20	▲ 1.15	▲ 1.90	▲ 1.90	▲ 2.62	▲ 3.21

(注1) 逆サイクルとは、指数の上昇・下降の動きが景気の動きと反対になることをいう。逆サイクルの指標は、前月比伸び率がプラスになれば指数に対する寄与度のマイナス要因となり、逆に前月比伸び率がマイナスになればプラス要因となる。CI遅行指数においては、LG1が逆サイクルの性質を有している。

## 4. CI 時系列グラフ



(注1)シャドー部分は景気後退期を示す。

## 5. CI 指数表

### (1) 先行指数

(平成27曆年=100)

年/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
H20(2008)	90.1	91.7	89.6	93.1	92.7	92.3	90.2	91.0	88.1	83.8	80.6	76.8
21(2009)	73.0	70.4	69.0	73.3	71.0	71.8	72.1	74.0	73.7	79.0	80.1	84.4
22(2010)	83.7	82.8	86.2	88.1	87.3	87.6	88.0	87.6	90.2	87.5	88.4	90.7
23(2011)	89.4	93.2	86.9	83.3	88.1	89.0	93.8	92.6	91.4	92.7	91.6	91.7
24(2012)	95.2	98.0	98.9	93.0	91.6	96.6	94.0	91.6	91.2	91.7	93.3	93.8
25(2013)	95.4	95.4	95.9	95.7	99.1	96.5	100.4	100.8	103.2	103.7	105.8	105.9
26(2014)	105.7	103.6	103.4	103.3	103.0	105.7	105.2	103.2	104.1	101.8	104.1	102.6
27(2015)	100.2	101.6	102.2	100.0	101.5	101.3	99.7	97.8	98.4	100.1	100.0	97.3
28(2016)	97.5	95.6	96.7	97.6	97.7	98.1	99.0	99.0	100.3	102.7	103.3	107.5
29(2017)	107.9	108.3	108.8	107.7	108.9	109.4	108.4	109.3	109.4	109.1	107.9	108.1
30(2018)	105.4	104.7	104.7	106.8	104.9	106.5	106.0	104.0	103.2	102.2	101.9	101.1
31(2019)	98.8	98.4	99.7	97.3	98.1	96.5	96.4	95.7	96.0	97.0	98.9	98.9
R2(2020)	97.5	98.2	92.7	87.3	87.9	93.4	95.8	97.4	100.2			

### (2) 一致指数

(平成27曆年=100)

年/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
H20(2008)	89.9	90.8	90.9	89.1	88.4	87.8	86.2	85.6	83.1	81.6	76.5	70.6
21(2009)	61.6	56.8	55.3	60.6	61.1	61.9	65.3	65.5	68.0	68.2	69.1	72.3
22(2010)	74.3	74.8	75.0	77.9	78.7	79.8	78.9	79.7	80.3	79.9	81.7	81.8
23(2011)	81.2	82.7	78.3	73.6	77.4	78.3	81.5	83.2	83.7	84.5	82.8	86.7
24(2012)	90.5	93.2	95.8	91.9	91.2	94.0	90.3	87.0	85.9	87.0	88.1	86.3
25(2013)	89.2	90.1	94.4	93.4	95.4	94.5	96.3	99.8	102.3	100.5	103.2	102.7
26(2014)	106.1	105.5	107.6	103.9	105.4	103.9	103.3	103.1	102.2	99.7	101.6	104.5
27(2015)	103.0	103.1	101.2	102.1	98.7	98.9	98.5	96.5	101.7	100.1	99.2	96.9
28(2016)	98.4	96.9	98.0	93.7	96.0	99.4	98.3	98.0	95.2	97.8	98.4	97.0
29(2017)	96.2	96.9	96.8	99.7	100.4	100.3	101.3	100.1	98.3	100.4	102.1	103.6
30(2018)	100.0	101.1	100.7	100.5	101.2	101.0	102.7	100.4	99.5	100.5	102.8	102.5
31(2019)	100.0	97.3	97.2	95.8	97.7	95.6	92.6	93.9	90.8	89.0	89.7	89.4
R2(2020)	89.5	89.5	86.6	81.2	73.2	74.4	75.0	77.8	77.5			

### (3) 遅行指数

(平成27曆年=100)

年/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
H20(2008)	203.6	203.5	211.3	203.9	203.0	211.3	216.6	198.9	197.3	192.1	181.7	172.6
21(2009)	147.7	133.5	120.0	110.2	101.5	97.4	100.1	103.5	106.2	106.8	108.6	114.1
22(2010)	118.7	118.8	119.3	118.7	121.2	117.0	116.1	114.4	111.8	114.6	113.6	113.1
23(2011)	110.3	111.6	107.3	105.0	105.5	100.0	100.4	101.7	102.6	100.2	97.3	96.1
24(2012)	101.4	104.3	96.6	100.6	97.0	92.9	90.1	89.4	90.7	91.7	91.4	91.8
25(2013)	85.8	83.3	84.4	86.4	88.8	89.2	96.7	95.6	96.6	102.1	102.0	101.5
26(2014)	106.0	105.7	106.2	104.9	105.9	107.4	103.0	104.4	102.3	99.8	101.7	102.1
27(2015)	104.5	103.0	103.0	100.5	102.9	98.1	98.0	98.6	96.4	97.6	96.8	100.6
28(2016)	99.0	101.6	96.9	98.5	97.2	97.7	97.0	96.9	98.7	102.4	104.4	103.1
29(2017)	105.4	107.9	104.8	106.5	106.3	107.4	111.6	113.7	116.7	116.2	117.1	118.6
30(2018)	124.1	124.0	125.1	127.9	126.4	131.0	133.1	128.0	128.3	133.0	128.3	125.0
31(2019)	125.7	125.0	125.2	129.9	135.0	129.6	128.3	129.4	131.0	127.8	128.7	129.2
R2(2020)	128.2	129.6	116.9	122.6	119.7	115.4	115.9	109.9	107.1			



# 三重県景気動向指数（DI）令和2年9月分の概要

## 1. 景気動向指数（DI）

令和2年9月のDIは、先行指数83.3%、一致指数71.4%、遅行指数40.0%となった。

	令和2年 6月	7月	8月	9月
先行指数	42.9%	71.4%	71.4%	83.3%
一致指数	14.3%	21.4%	85.7%	71.4%
遅行指数	33.3%	33.3%	66.7%	40.0%

## 2. 景気の動向

一致指数（景気の現状を示す指標）は、景気判断の分かれ目となる50%ラインを2か月連続で上回った。

先行指数（評価時点よりも半年程度先の景気を示す指標）は、景気判断の分かれ目となる50%ラインを3か月連続で上回った。

## 3. 個別系列の動き（3か月前と対比）

### (1) 先行系列

プラス指標……新規求人数（3か月連続）、鉱工業生産指数（生産財）（2か月連続）、自動車（新車）登録台数（3か月連続）、新設住宅着工戸数（2か月ぶり）、日経商品指数（42種総合）（4か月連続）  
マイナス指標…東証株価指数（前月比）（3か月連続）

### (2) 一致系列

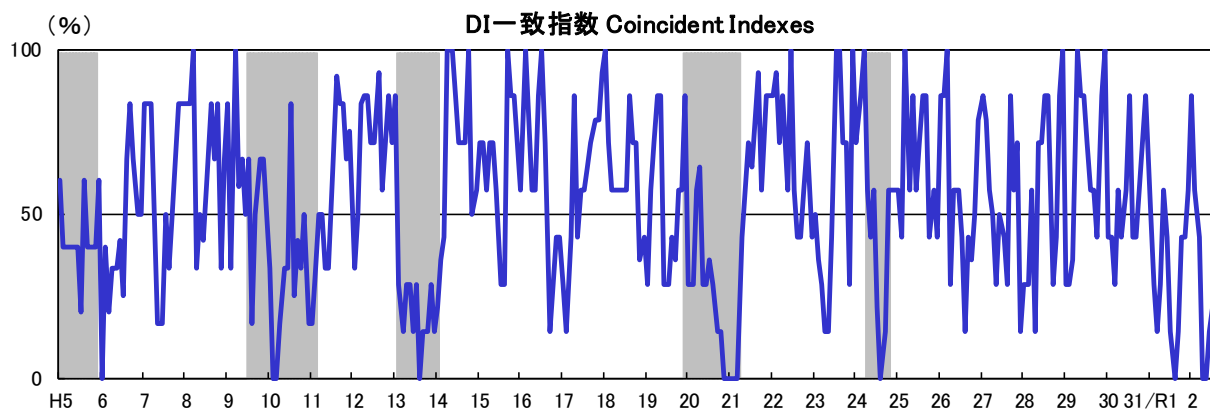
プラス指標……鉱工業生産指数（2か月連続）、鉱工業生産指数（鉱工業用生産財）（2か月連続）、輸入通関実績（四日市港）（2か月連続）、人件費比率（製造業）\*（2か月連続）、所定外労働時間指数（製造業5人以上）（2か月連続）  
マイナス指標…有効求人倍率（19か月連続）、大型小売店（百貨店・スーパー）販売額（既存店）（4か月ぶり）

### (3) 遅行系列

プラス指標……常用雇用指数（製造業30人以上）（2か月連続）、法人事業税調定額（法人事業税+地方法人特別税）（3か月連続）  
マイナス指標…雇用保険受給者実人員\*（4か月連続）、家計消費支出（二人以上の世帯・津市）（2か月ぶり）、消費者物価指数（津市）（4か月ぶり）

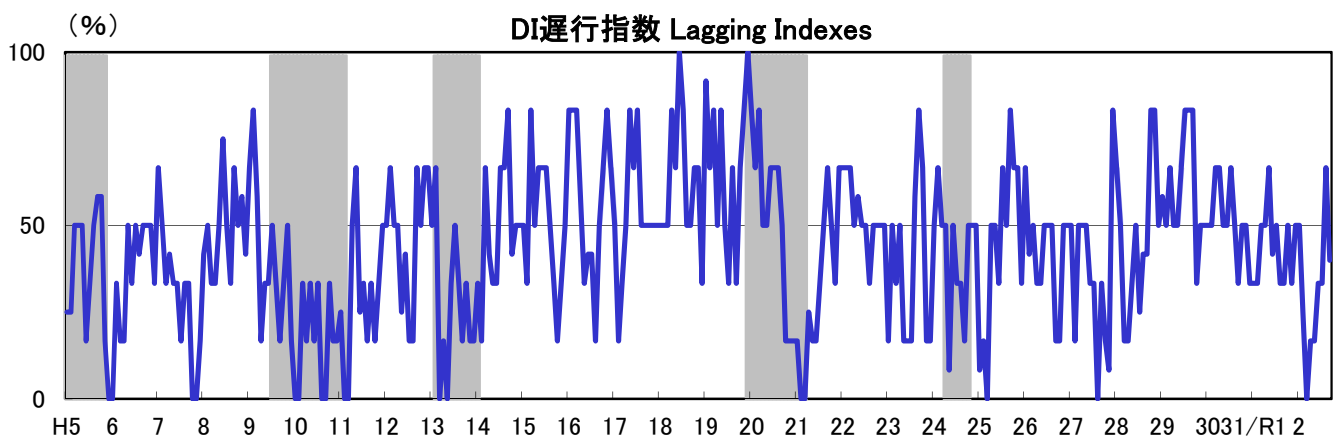
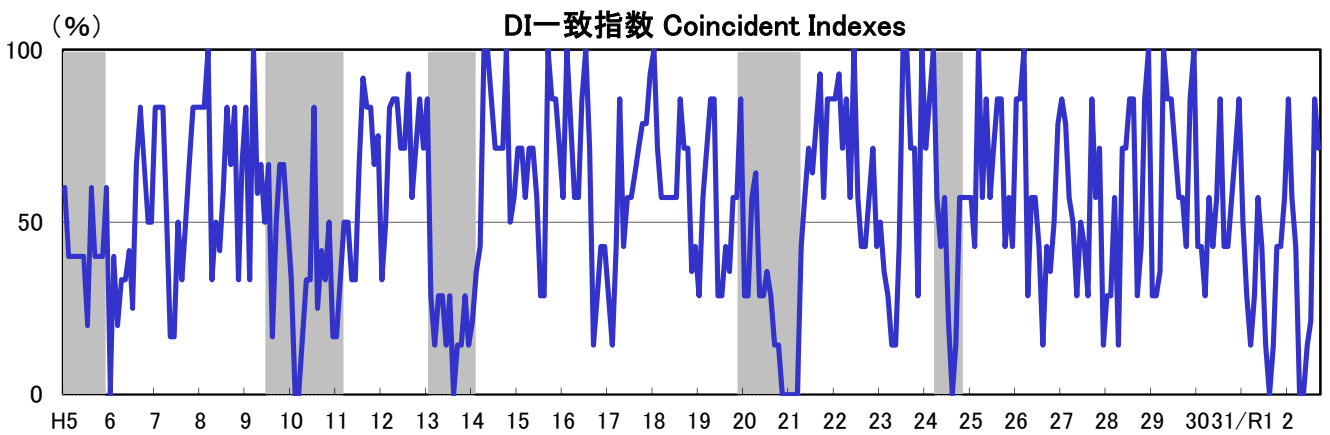
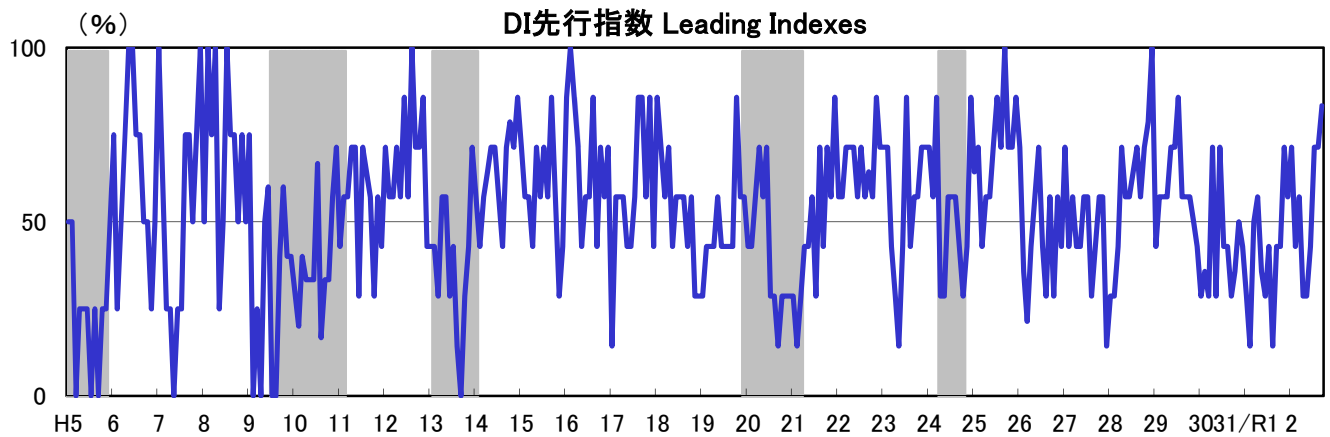
（注）\*は、逆サイクル（景気の動きに対しての逆の動き）を示す。

## 4. DI一致指数の推移



（注）DIとはDiffusion Indexの略で、採用系列の各指標が判断時点の3か月前に比べて好転すればプラス、悪化すればマイナスとし、全体に占めるそれらの符号数の比率で景気の方角性を示す。

## 6. DI 時系列グラフ



(注1) シャドー部分は景気後退期を示す。

## 7. DI 指数表

### (1) 先行指数

(単位:%)

年/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
H20(2008)	42.9	42.9	57.1	71.4	57.1	71.4	28.6	28.6	14.3	28.6	28.6	28.6
21(2009)	28.6	14.3	28.6	42.9	42.9	57.1	28.6	71.4	42.9	71.4	57.1	85.7
22(2010)	57.1	57.1	71.4	71.4	71.4	57.1	71.4	57.1	64.3	57.1	85.7	71.4
23(2011)	71.4	71.4	42.9	28.6	14.3	42.9	85.7	42.9	57.1	57.1	71.4	71.4
24(2012)	71.4	57.1	85.7	28.6	28.6	57.1	57.1	57.1	42.9	28.6	42.9	85.7
25(2013)	64.3	71.4	42.9	57.1	57.1	71.4	85.7	71.4	100.0	71.4	71.4	85.7
26(2014)	71.4	35.7	21.4	42.9	57.1	71.4	42.9	28.6	57.1	28.6	57.1	42.9
27(2015)	71.4	42.9	57.1	42.9	42.9	57.1	57.1	28.6	42.9	57.1	57.1	14.3
28(2016)	28.6	28.6	42.9	71.4	57.1	57.1	64.3	71.4	57.1	71.4	78.6	100.0
29(2017)	42.9	57.1	57.1	57.1	71.4	71.4	85.7	57.1	57.1	57.1	50.0	42.9
30(2018)	28.6	35.7	28.6	71.4	28.6	71.4	42.9	42.9	28.6	35.7	50.0	42.9
31(2019)	28.6	14.3	50.0	57.1	35.7	28.6	42.9	14.3	42.9	42.9	71.4	57.1
R2(2020)	71.4	42.9	57.1	28.6	28.6	42.9	71.4	71.4	83.3			

### (2) 一致指数

(単位:%)

年/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
H20(2008)	28.6	28.6	57.1	64.3	28.6	28.6	35.7	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0
21(2009)	0.0	0.0	0.0	42.9	57.1	71.4	64.3	78.6	92.9	57.1	85.7	85.7
22(2010)	85.7	92.9	71.4	85.7	57.1	100.0	57.1	42.9	42.9	57.1	71.4	42.9
23(2011)	50.0	35.7	28.6	14.3	14.3	42.9	100.0	100.0	71.4	71.4	28.6	100.0
24(2012)	71.4	85.7	100.0	57.1	42.9	57.1	21.4	0.0	14.3	57.1	57.1	57.1
25(2013)	57.1	42.9	100.0	57.1	85.7	57.1	71.4	85.7	85.7	42.9	57.1	42.9
26(2014)	85.7	85.7	100.0	28.6	57.1	57.1	42.9	14.3	42.9	35.7	50.0	78.6
27(2015)	85.7	78.6	57.1	50.0	28.6	50.0	42.9	28.6	85.7	57.1	71.4	14.3
28(2016)	28.6	28.6	57.1	14.3	71.4	71.4	85.7	85.7	28.6	42.9	85.7	100.0
29(2017)	28.6	28.6	35.7	100.0	85.7	85.7	71.4	57.1	57.1	42.9	85.7	100.0
30(2018)	42.9	42.9	28.6	57.1	42.9	57.1	85.7	42.9	42.9	57.1	71.4	85.7
31(2019)	50.0	28.6	14.3	28.6	57.1	42.9	14.3	0.0	14.3	42.9	42.9	57.1
R2(2020)	85.7	57.1	42.9	0.0	0.0	14.3	21.4	85.7	71.4			

### (3) 遅行指数

(単位:%)

年/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
H20(2008)	83.3	66.7	83.3	50.0	50.0	66.7	66.7	66.7	50.0	16.7	16.7	16.7
21(2009)	16.7	0.0	0.0	25.0	16.7	16.7	33.3	50.0	66.7	50.0	33.3	66.7
22(2010)	66.7	66.7	66.7	50.0	58.3	50.0	50.0	33.3	50.0	50.0	50.0	50.0
23(2011)	16.7	50.0	33.3	50.0	16.7	16.7	16.7	58.3	83.3	66.7	16.7	16.7
24(2012)	50.0	66.7	50.0	50.0	8.3	50.0	33.3	33.3	16.7	50.0	50.0	50.0
25(2013)	8.3	16.7	0.0	50.0	50.0	33.3	66.7	50.0	83.3	66.7	66.7	33.3
26(2014)	66.7	41.7	50.0	33.3	33.3	50.0	50.0	50.0	16.7	16.7	50.0	50.0
27(2015)	50.0	16.7	50.0	50.0	50.0	33.3	33.3	0.0	33.3	16.7	8.3	83.3
28(2016)	66.7	50.0	16.7	16.7	33.3	50.0	25.0	41.7	41.7	83.3	83.3	50.0
29(2017)	58.3	50.0	66.7	50.0	50.0	66.7	83.3	83.3	83.3	33.3	50.0	50.0
30(2018)	50.0	50.0	66.7	66.7	50.0	50.0	66.7	50.0	33.3	50.0	50.0	33.3
31(2019)	33.3	33.3	50.0	50.0	66.7	41.7	50.0	33.3	33.3	50.0	33.3	50.0
R2(2020)	50.0	25.0	0.0	16.7	16.7	33.3	33.3	66.7	40.0			



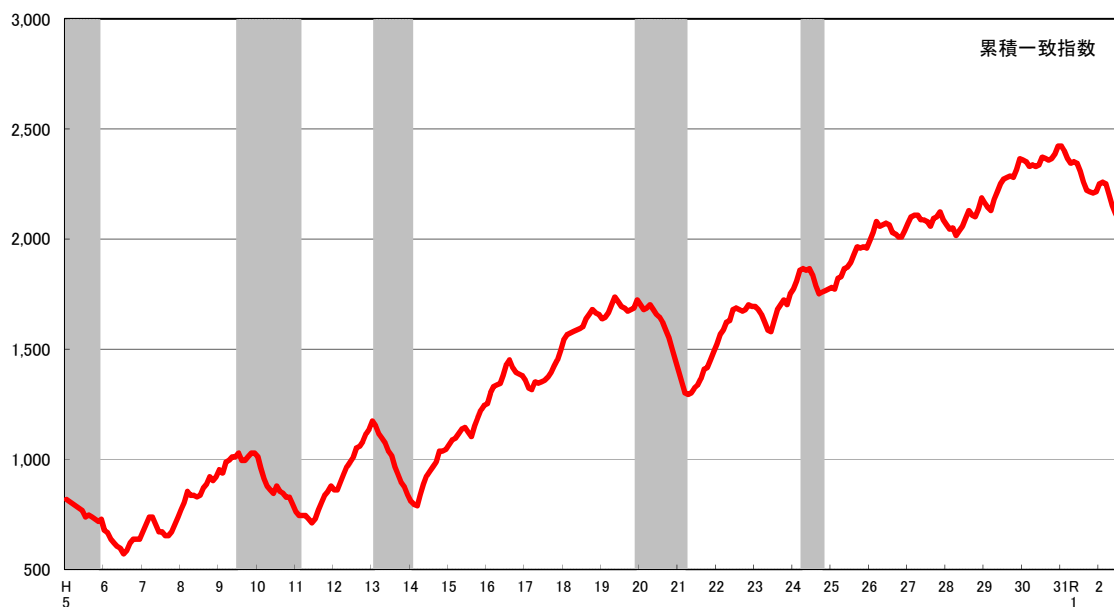
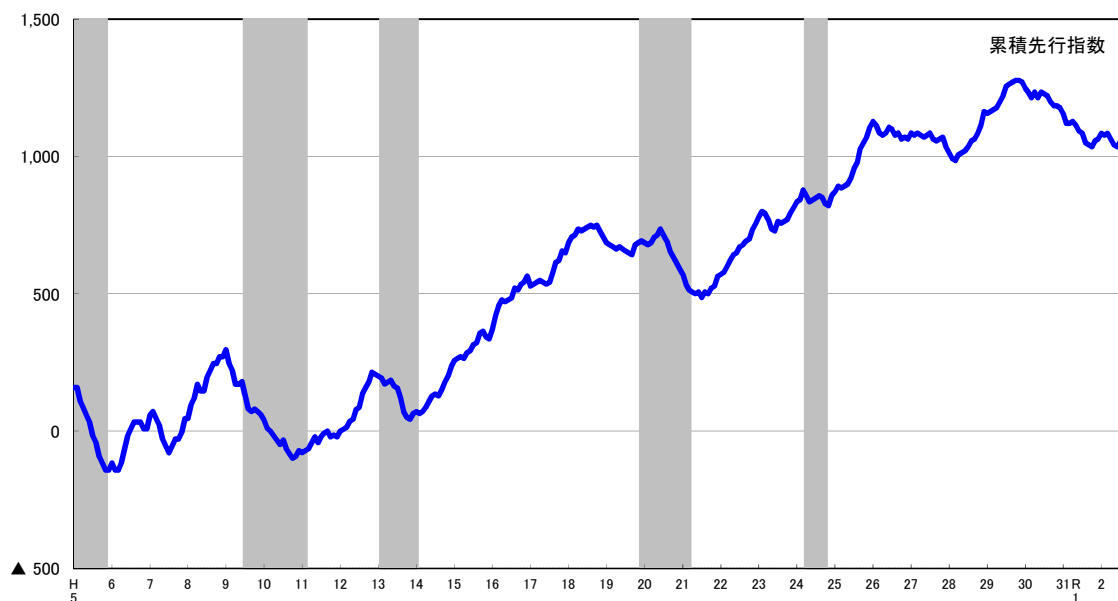
## 9. DI 変化方向表

	系列名	季節調整等	令和元年				令和2年								
			9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
先行 系列	L1 新規求人数	X-12-ARIMA	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	+	+	+
	L2 鉱工業生産指数（生産財）	X-12-ARIMA	-	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	+	+
	L3 自動車（新車）登録台数	X-12-ARIMA	+	-	-	-	+	-	+	-	-	-	+	+	+
	L4 新設住宅着工戸数	X-12-ARIMA	+	-	+	-	+	+	+	-	-	-	+	-	+
	L5 銀行貸出末残（地域銀行、東海三県）	X-12-ARIMA	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
	L6 東証株価指数	原数値	+	+	+	-	-	-	-	+	+	+	-	-	-
	L7 日経商品指数（42種総合）	前年同月比	-	-	+	+	+	-	-	-	-	+	+	+	+
	拡張系列数		3.0	3.0	5.0	4.0	5.0	3.0	4.0	2.0	2.0	3.0	5.0	5.0	5.0
	採用系列数		7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6
	先行指数		42.9	42.9	71.4	57.1	71.4	42.9	57.1	28.6	28.6	42.9	71.4	71.4	83.3
(参考) 先行指数 [全国]		27.3	18.2	36.4	54.5	36.4	45.5	18.2	18.2	9.1	18.2	80.0	100.0	p100.0	
一致 系列	C1 鉱工業生産指数	X-12-ARIMA	-	-	-	+	+	+	-	-	-	-	+	+	
	C2 鉱工業生産指数（鉱工業用生産財）	X-12-ARIMA	-	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	+	+
	C3 輸入通関実績（四日市港）	X-12-ARIMA	-	-	+	+	+	-	-	-	-	-	-	+	+
	C4 有効求人倍率	X-12-ARIMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	C5 人件費比率（製造業）*	X-12-ARIMA	-	+	-	+	+	-	-	-	-	-	0	+	+
	C6 大型小売店（百貨店・スーパー）販売額（既存店）	前年同月比	+	+	+	-	+	+	+	-	-	+	+	+	-
	C7 所定外労働時間指数（製造業5人以上）	X-12-ARIMA	-	-	-	-	+	+	+	-	-	-	-	+	+
	拡張系列数		1.0	3.0	3.0	4.0	6.0	4.0	3.0	0.0	0.0	1.0	1.5	6.0	5.0
	採用系列数		7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	一致指数		14.3	42.9	42.9	57.1	85.7	57.1	42.9	0.0	0.0	14.3	21.4	85.7	71.4
(参考) 一致指数 [全国]		40.0	0.0	0.0	10.0	40.0	r60.0	0.0	0.0	0.0	10.0	77.8	r77.8	p62.5	
遅行 系列	LG1 雇用保険受給者実人員 *	X-12-ARIMA	-	+	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	
	LG2 常用雇用指数（製造業30人以上）	X-12-ARIMA	-	-	-	+	+	+	-	+	-	0	-	+	+
	LG3 法人事業税調定額（法人事業税+地方法人特別税）	X-12-ARIMA	+	+	-	+	-	-	-	-	-	-	+	+	+
	LG4 貸出約定平均金利（地元地域銀行・総合（ストック））	原数値	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	LG5 家計消費支出（二人以上の世帯・津市）	前年同月比	+	+	+	-	+	-	-	-	-	+	-	+	-
	LG6 消費者物価指数（津市）	前年同月比	-	-	+	+	+	0	-	-	-	0	+	+	-
	拡張系列数		2.0	3.0	2.0	3.0	3.0	1.5	0.0	1.0	1.0	2.0	2.0	4.0	2.0
	採用系列数		6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5
	遅行指数		33.3	50.0	33.3	50.0	50.0	25.0	0.0	16.7	16.7	33.3	33.3	66.7	40.0
	(参考) 遅行指数 [全国]		33.3	22.2	38.9	50.0	66.7	44.4	22.2	11.1	5.6	22.2	r25.0	r56.3	p25.0

(注) 変化の方向を見る＋、0、－は、当月の数値と3ヵ月前の数値を比較したものである。（増加した時＋、保ち合いの時0、減少した時－）

(注) \*は、逆サイクル（景気の動きに対して逆の動き）を示す。

## 10. 累積 DI 指数グラフ Cumulated Diffusion Indexes



(注1) シャドー部分は景気後退期を示す。

※累積指数は、各月のDI指数を次の式により累積したものである。(累積DI)<sub>t</sub>=(累積DI)<sub>t-1</sub>+(DI-50)

## 11. 景気動向指数の利用の手引き

景気動向指数は、生産、雇用など様々な経済活動での重要かつ景気に敏感な指標の動きを統合することによって、景気の現状把握及び将来予測に資するために作成された統合的な景気指標である。

CI（コンポジット・インデックス）は採用系列の変化率を合成・累積することにより、景気変動の大きさやテンポといった量感の把握を目的とし、DI（ディフュージョン・インデックス）は採用系列の変化方向を合成することにより、景気の波及・浸透度合いや景気転換点（景気の高・谷）の判定等に用いることを目的とする。

CI・DIとも、景気に先行して動く先行指数、ほぼ一致して動く一致指数、遅れて動く遅行指数、の3指数がある。三重県では、現在CIに採用している採用系列はDIと共通であり、先行指数7、一致指数7、遅行指数6の20系列で作成している（全国は先行11、一致10、遅行9の30系列）。

### (1) CIの概要と利用の仕方

#### <目的>

CIは景気に敏感な指標の量的な動きを合成した指標で、景気変動の大きさやテンポといった量感を測定することを目的とする。

#### <作成方法>

内閣府経済社会総合研究所の作成方法（「内閣府経済社会総合研究所景気統計部 第9次改定後の計算方法」）に準拠している。詳しい計算方法については、内閣府経済社会総合研究所のホームページ内「統計の作成方法」のページ（<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/di3.html>）を参照されたい。

ただし、閾値の算出、外れ値の刈り込みにあたって用いるデータの期間は、昭和60年1月から令和元年12月としており、一致指数の採用系列の5%相当分の値を「外れ値」とするようにして算出している。

#### <利用の仕方>

一般に、一致指数が上昇しているときに景気の拡張局面、低下しているときに後退局面、一致指数の高（谷）の近くに景気の高（谷）が存在するといわれるように、一致指数の数値の変化の大きさが景気の拡張・後退のテンポあらかず。また、その時々々の量感をグラフなどで視覚的に観察しやすくなっている。ただし、景気が拡張（後退）局面にあるのか、景気の転換点がどこにあるのかなどについては、後述のDIと合わせて判断するのが望ましい。（正確な景気の高・谷（景気基準日付）については、ヒストリカルDIに基づいて設定される。詳細は専用のページ<https://www.pref.mie.lg.jp/DATABOX/31662002716.htm>を参照されたい。）

また、CIが上昇（低下）しても、その期間が極めて短い場合は景気拡張（後退）とみなすのは適当でなく、景気が拡張から後退もしくはその逆方向に動いたと判断するためには、CIが一定の大きさで変動することが求められる。（詳細は、後述の「12. CIを用いた景気判断の基準」を参照

されたい。)さらに、CIは、景気に敏感に反応するという観点から選ばれた指標の変化量を合成したものであり、経済活動を網羅的に把握したものではないことに留意する必要がある。

CIの基調は、一致指数の動きをみることで判断するが、月々の動きについては極端な外れ値の影響は除かれているものの、不規則な動きも含まれていることから、移動平均値を取ることで月々の動きをならして見るのが望ましい。具体的には、足下の基調変化をあらわす「3か月後方移動平均」と、基調変化が定着しつつあることをあらわす「7か月後方移動平均」を加味し、総合的に判断する。

## (2) DIの概要と利用の仕方

### <目的>

DIは景気に敏感な諸指標を選定し、そのうち上昇(拡張)を示している指標の割合を示すものであり、景気の波及・浸透度合いや景気局面の変化を判定することを目的とする。

また、ヒストリカルDIを用いて景気転換点(景気の山・谷)の判定を行う。

### <作成方法>

採用系列の各月の値を3か月前の値と比較して、増加したときには+、保ちあいの時には0、減少したときには-、という変化方向をつけ、先行・一致・遅行の指数ごとに、採用系列数に占める拡張系列数(+となった数)の割合(%)をDIとする。

$$DI = (\text{拡張系列数} + \text{保ちあい系列数} \times 0.5) / \text{採用系列数} \times 100 \quad (\%)$$

### <利用の仕方>

一般的に、先行指数は一致指数に数か月先行することから、景気の動きを予知し、遅行指数は一致指数に数か月から半年程度遅行することから、景気の転換点や局面の確認に利用する。

景気の良し悪しを判断するには一応50%ラインを目安にしているが(上回れば拡張局面、下回れば後退局面)、近年、部門間のばらつきも目立っており、景気局面を判断するには、大半の部門に景気変動が波及している(DIが100%あるいは0%に近い)ことを確認することが必要である。

ただし、DIは変化率を合成したものではないので、DIの水準自体の変化は景気変動の大きさないし振幅とは直接的には関係ない。

## (3) CIとDIの違い

以上のように、CIが景気の山の高さや谷の深さ、拡張や後退の勢いといった景気の「量感」を示す指数であるのに対し、DIは景気局面判定に用いる指数である。

CIは景気変動の大きさやテンポを比較する量的な分析に活用され、一方のDIは景気局面や景気転換点を判断する質的な分析に活用されるものとそれぞれは位置づけられることから、両者を相互補完的に利用することで景気変動をよりの確にとらえることができる。

※ 本手引きは、内閣府経済社会総合研究所が作成した手引きの一部を抜粋、加工して作成したものです。



## 12. CIを用いた景気の基調判断の基準

- (1) 当月 CI の前月差は一時的な要因に左右され安定しないため、3か月後方移動平均と7か月後方移動平均の前月差を中心に「基調」を判断する。
- (2) 当月 CI の変化方向（前月差の符号）が「基調」と同方向であることを前提とする。
- (3) 各移動平均の変化方向（前月差の符号）に加え、過去3か月間の累積前月差を加味する。

### 《基調判断の定義と基準》

基調判断	定義	基準
① 改善	景気 <b>拡張</b> の可能性が高いことを示す。	原則として3か月以上連続して、3か月後方移動平均が <b>上昇</b> した場合。
② 足踏み	景気 <b>拡張</b> の動きが <b>足踏み状態</b> になっている可能性が高いことを示す。	<b>3か月後方移動平均</b> の符号が変化し、1か月、2か月、または3か月の累積で1標準偏差分以上逆方向に振れた場合。
③ 局面変化	事後的に判定される景気の <b>山・谷</b> が、 <b>それ以前の数か月にあった可能性</b> が高いことを示す。	<b>7か月後方移動平均</b> の符号が変化し、1か月、2か月、または3か月の累積で1標準偏差分以上逆方向に振れた場合。
④ 悪化	景気 <b>後退</b> の可能性が高いことを示す。	原則として3か月以上連続して、3か月後方移動平均が <b>下降</b> した場合。
⑤ 下げ止まり	景気 <b>後退</b> の動きが <b>下げ止まっている</b> 可能性が高いことを示す。	<b>3か月後方移動平均</b> の符号が変化し、1か月、2か月、または3か月の累積で1標準偏差分以上逆方向に振れた場合。

- ※ 「改善（足踏み）」または「悪化（下げ止まり）」という基調判断に続いて、同方向の「局面変化」に該当することとなった場合、「局面変化」は適用しない。
- ※ 景気拡張期（①改善及び②足踏み）から景気後退期（④悪化及び⑤下げ止まり）へ変化する際は、「局面変化」（上方）を経て進んでいくこととする。景気後退期から景気拡張期への変化も同様とする。なお、「改善（足踏み）」から「局面変化」に移行した時点で、既に景気後退局面に入った可能性が高いことを暫定的に示している。同様に「悪化（下げ止まり）」から「局面変化」に移行した時点で、既に景気拡張局面に入った可能性が高いことを暫定的に示している。
- ※ ①～⑤に該当しない場合は、前月の基調判断を踏襲する。ただし、特記すべき事項があれば付記する。
- ※ 定義の欄の「景気拡張」及び「景気後退」については、すべて暫定的なものとする。正式な景気循環（景気基準日付）については、一致CIの各採用系列から作られるヒストリカルDI等に基づき、設定するものである。

#### ◆ 三重県一致CIの「振幅」の目安(標準偏差)

3か月後方移動平均	1.18
7か月後方移動平均	0.86

(昭和60年1月から令和元年12月まで)

- ※ 当該基準は、内閣府の判断基準に準じており、三重県一致CIの「振幅」の目安については県値を用いて独自に推計しました。